

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0609
施設名	丸子ベビー保育園
施設所在地	大田区下丸子3-21-17
法人名	社会福祉法人みくに会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界と自分

<テーマの設定理由>

外国籍の在園児が数名いることから、友だちの出身国や関わりの深い国について知ること
で、外国をより身近に感じられるようになると考えました。また、就学に向けて、園の行事
である発表会や卒園式などの発表の機会を通して自己理解を深めながら、感じたことや考えた
ことを自分の言葉で自信をもって表現できる力を育ててほしいと考えました。

2. 活動スケジュール

- ・12月：料理 — 玉ねぎ、にんじん、じゃがいもをどう使えばカレーはおいしくなるのかな？
- ・1月：国旗 — 世界にはどんな国旗があるの？
- ・2月：意味 — 国旗の色や形、描かれている模様やマークは何を表しているのかな？
- ・3月：表現 — 自分を表すフラッグを作るとしたらどんな色や模様を入れたい？

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

子どもたちが興味に応じて参加し、自分の考えを言葉にできるように、グループに分けて活
動を行いました。少人数で活動することで、保育者や友だちとの対話が生まれやすい環境を
整えました。

また、気づいたことややってみたいことを自由に試すことができる場を設定しました。子ど
もたちの気づきや考えを活動のテーマにつなげながら、考えるきっかけとなる問いかけや言
葉がけを心掛けました。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

カレー作りに向けて、具材である野菜に着目し、カレーに合う野菜と他の野菜との違いについて考え、気づいたことを話し合いました。次に、具材の切り方にも着目し、どのように切るとおいしくなるのか、形と味の違いについて考えながら、実際に切って食べて違いを確かめました。

また、食育活動「世界の料理」で紹介される国旗に着目し、世界の国旗クイズを通してさまざまな国旗があることを知り、好きな国旗を描く活動を行いました。さらに、国旗の色や模様などの違いに気づき、それぞれにどのような意味があるのかをグループに分かれて調べ、気づいたことを発表し共有しました。

最後に、国旗の色や模様の意味を振り返りながら、「自分の好きな色」「好きなもの」「好きな形」「大切にしたいこと」を考え、オリジナルのフラッグを制作しました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

にんじんの切り方を考える場面では、「赤ちゃんも食べるから、大きさはどうしよう?」という子どもの気づきがあり、それに対して「赤ちゃんの分は別に作ればいい」「赤ちゃんの口の大きさに切ればいい」などの意見が出され、子どもたち同士で話し合いながら解決策を見出していました。

また、国旗づくりの活動では、国の名前を自分で調べて書いたり、「サンタの生まれた国の国旗を描きたい」と言いながら絵本でその国を探して選んだりするなど、疑問に思ったことを自分で調べて解決しようとする姿が見られました。

自分のフラッグを発表する場面では、「日本なので、日本の旗に好きなハートを入れました」「英語のマークを入れました」「南アフリカみたいに、たくさんの色を使ってみました」など、工夫した点を自分の言葉で伝える姿が見られました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

にんじんの切り方については、「味」以外にも「やわらかさ（食べやすさ）」に注目することができました。また、「保育園の給食」ということを理解し、自分以外の赤ちゃんも食べることに気づき、どうしたらよいかを考えることができました。「包丁のルール」を決めたり、切る順番を子どもたちで決めたりと、子どもたちが意見を出して進めることが定着しつつあります。

国旗の意味にはアパルトヘイトや平和の願いなど難しいものも含まれていましたが、「さべつ、って知っているよ」「仲良くするってことだね」など、子どもたちなりに理解を深めていました。探究活動をきっかけに国際理解への第一歩となったと思われます。

探究活動を通じて、図鑑やインターネットで疑問を調べて解決したり、興味を持って調べてみようとする経験が、子どもの「もっと知りたい」「もっと学びたい」という意欲を引き出し、未来の学習の基盤を築いていると感じました。